※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １２０１ |
|---|---|

# 令和５年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 地学基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 地学基礎　改訂版　（啓林館） | | | | | | |
| 副教材等 | 書き込みサブノート地学基礎（旺文社）　ニューステージ地学図表（浜島書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが生活している地球には、地震や噴火、津波などの危険な現象が多発しています。そのため、それらを正しく理解し、向き合っていく必要があります。ただ、地球は危険なだけではなく、私たち生物が生きていられるという奇跡的な場所でもあります。その地球や宇宙のことを知れば知るほど、私たちの平穏な日々がどれだけありがたいものかを感じることができるでしょう。一緒に地球や宇宙について知っていきましょう！

## ２　学習の到達目標

(1) 地球上の自然現象に関する実習・実験に取り組み、技能を身に付けるようにする。
(2) 地球上の自然現象に対する科学的な思考や判断をする能力を養う。
(3) 日常生活と地球について理解し、様々な自然事象を科学的な視点をもって解釈し、問題の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地球と日常生活の関連を図りながら、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 | 扱う各領域において、探究する過程を通して、それぞれの事象を科学的に考察し、自らの考えを表現するなど、科学的に探究している。 | 自然現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 固体地球 | 地球の大きさと形<br>地球の内部構造<br>プレート<br>地震<br>火山<br>火成岩 | a:地球の構造や内部で起こる自然現象について理解し、火成岩の観察ができる<br>b:プレートや火成岩の形成について考え説明ができる<br>c:地球に関して興味を持ち、積極的に学習に取り組んでいる | 学習状況<br>ノート<br>ワークシート<br>定期考査 | 学習状況<br>ノート<br>ワークシート<br>定期考査 | 学習状況<br>ノート<br>ワークシート<br>観察・実験 |
| 2学期 | 地球の歴史・気象と海洋 | 堆積岩<br>地層からわかること<br>化石と地質時代<br>大気圏<br>水蒸気と雲<br>風<br>日本の天気 | a:堆積岩や化石について理解し、それらの特徴から時代を判別ができる。また、風の吹き方について理解し、天気図から風向きを読み取ることができる<br>b:地層の特徴からその堆積時の環境を考え、説明できる。また、雲の成り立ちについて説明できる<br>c:堆積岩や天気に関して興味を持ち、積極的に学習に取り組んでいる | 学習状況<br>ノート<br>ワークシート<br>定期考査 | 学習状況<br>ノート<br>ワークシート<br>定期考査 | 学習状況<br>ノート<br>ワークシート<br>観察・実験 |
| 3学期 | 天文 | 太陽系の天体<br>太陽系の誕生<br>太陽 | a:太陽系の天体について理解し、火成岩の観察ができる<br>b:太陽系の誕生について考え説明ができる<br>c:太陽系に関して興味を持ち、積極的に学習に取り組んでいる | 学習状況<br>ノート<br>ワークシート<br>定期考査 | 学習状況<br>ノート<br>ワークシート<br>定期考査 | 学習状況<br>ノート<br>ワークシート<br>観察・実験 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度